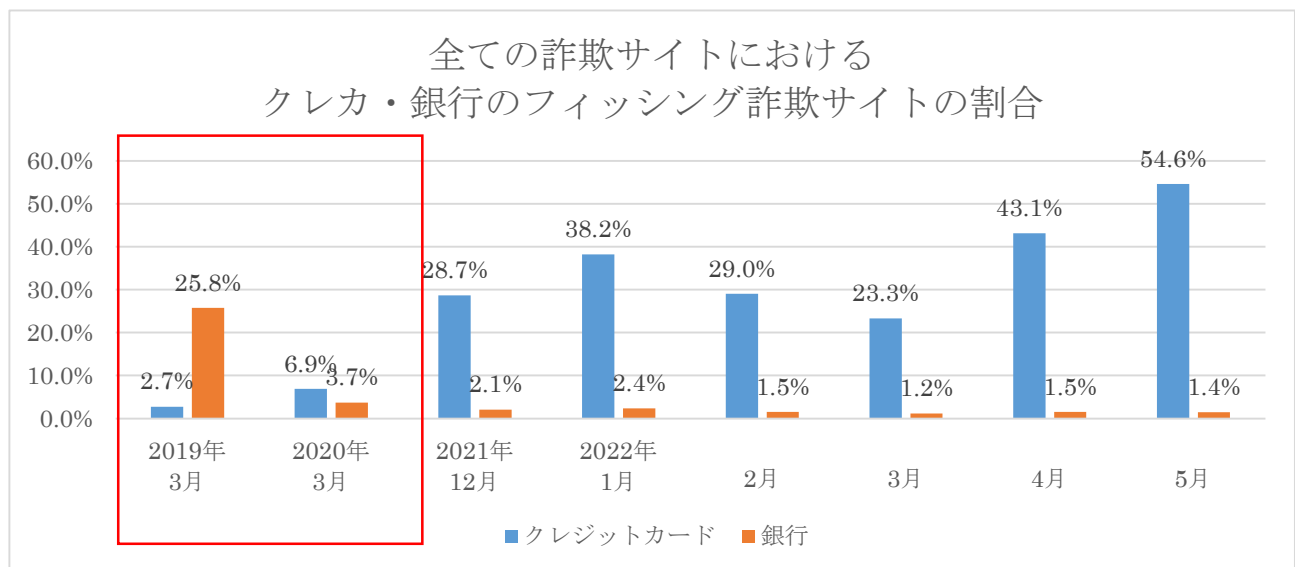


クレジットカードをかたるフィッシング詐欺の構成比が 50%以上に スミッシングによる 20-30 代被害の可能性も ～詐欺ウォール®による検知・収集データ分析～

2022 年 5 月度のインターネット詐欺リポートでは、増加しているクレジットカード向けフィッシング詐欺サイトについて取り上げます。

フィッシング詐欺は今まではインターネットバンキングを対象にフィッシング詐欺サイトが作られていましたが、近年クレジットカード情報を盗む詐欺サイトにシフトしてきています。BB ソフトサービス株式会社が開発・提供する、ネット詐欺専用セキュリティソフトの詐欺ウォールの調査として収集しているフィッシング詐欺サイトにおいてクレジットカードの詐欺サイトの割合は、5 月で 54.6%と全てのフィッシング詐欺サイトの中で半数を占めています。



近年、銀行のフィッシング詐欺サイトは減少傾向にあります。2019 年度は銀行のフィッシングサイトが割合として多かったですが、2020 年以降を境に逆転の傾向が見られました。これは利用者への啓発活動や銀行のフィッシング詐欺に対する対策の効果が出ていることが考えられます。ですがクレジットカードのフィッシング詐欺は近年増加傾向にあり、2022 年 5 月ではフィッシング詐欺サイトの半数を超えました。これは 18 歳からのカード申し込み、新年度でのクレジットカード会社各社の会員獲得の活動に伴い新規ユーザーが増えたことを狙ったことも考えられます。SMS を使った手口も増えており、フィッシング対策協議会「フィッシングレポート 2022」(NTT コムオンライン調べ)によると、SMS で遭遇した詐欺の中でクレジットカード会社を装ったものは 3 位となっています。また SMS で金銭被害にあったことがある属性も男性 20-30 代が多く、SMS に慣れ親しんでいるユーザーが騙されやすい傾向が見えます。

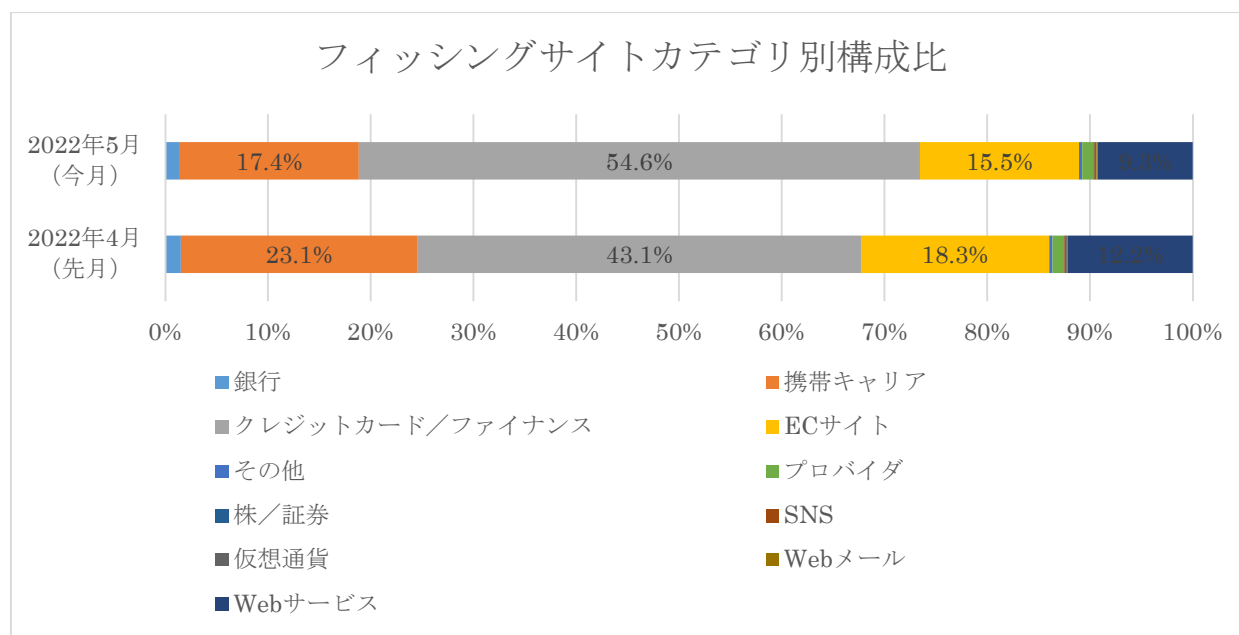
なお、詐欺ウォールで収集したフィッシング詐欺サイトで盗用されていたブランドの上位 10 位は以下の結

果となっており、今月はTOP10の中にクレジットカードのフィッシング詐欺サイトが6つランクインしています。

詐欺ウォールで収集したフィッシング詐欺サイトブランドランキング

	2022年4月	2022年5月
1	au	三井住友カード (Vpass 含む)
2	三井住友カード (Vpass 含む)	au
3	メルカリ	三菱 UFJ ニコス
4	三菱 UFJ ニコス	JCB
5	Apple ID	楽天
6	Viewcard	ETC 利用照会サービス
7	ETC 利用照会サービス	Amazon
8	エポスカード	エポスカード
9	Amazon	SAISON CARD
10	えきねっと	イオンカード

下記グラフは[詐欺ウォール](#)で収集したフィッシング詐欺サイトのカテゴリ別構成比を表したものです。JCB や SAISON CARD、イオンカードをかたるフィッシング詐欺サイトが今月ランクインし、クレジットカード／ファイナンスの割合が 11.5 ポイント増の 54.6%と増加しました。



また今月から夏服や夏向け寝具などの偽販売サイトも出てきており、6~8 月に向けて猛暑グッズなどの偽販

売サイトが増加する可能性があるため注意が必要です。



※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

■フィッシング詐欺被害防止のためのチェックポイント

1. メールやSMSで案内されたURLが正規のURLか確認する
メールやSMSメッセージ上のリンクはクリックせず、事前に登録しておいたブックマークやウェブ検索で正規サイトへアクセスする。
2. 個人情報やクレジットカード番号の入力を促すメール・SMSに注意する
クレジットカード会社などでは、個人情報やクレジットカード情報などについてメール・SMSでの問い合わせは行っていないため、情報入力させるページに誘導するメールには細心の注意を払いましょう。
3. SSL通信が提供されているかどうかチェックする
個人情報（メールアドレスやクレジットカード番号など）を入力するページのアドレスバーに鍵マークが表示されない場合には、注意が必要です。
4. ログインID・パスワードの使い回しを控える
複数のサービスサイトで同じログインID・パスワードを使い回していると、フィッシング詐欺によってログインID・パスワードが詐取された場合、ほかのサービスサイトの不正利用被害に遭う可能性が高まります。被害を最小限に抑えるためにもログインID・パスワードの使い回しはせず、サービスごとに登録内容を変更し管理を行うようにしましょう。

■2022年5月 詐欺サイト検知率レポート

詐欺ウォールとは日本人をターゲットにしたインターネット詐欺をブロックする、ネット詐欺専用セキュリティソフトです。従来の検知手法である「ブラックリスト検知」に加え、詐欺ウォール独自のネット詐欺検知エンジンである「ヒューリスティック検知」「AI 検知」のトリプルブロックで、ウイルス対策ソフトでは検知困難な巧妙な手口の詐欺サイトを検知します。

詐欺ウォールを開発・提供するBBソフトサービスでは、公的機関などとの連携によって収集した詐欺サイトURLを利用し、定期的に詐欺サイトの検知率調査を行っています。2022年5月の詐欺ウォールによる詐欺サイト検知率は96.7%と他社と比較し高い結果となりました。

<検知率調査概要>

https://www.sagiwall.jp/report/about_report.html

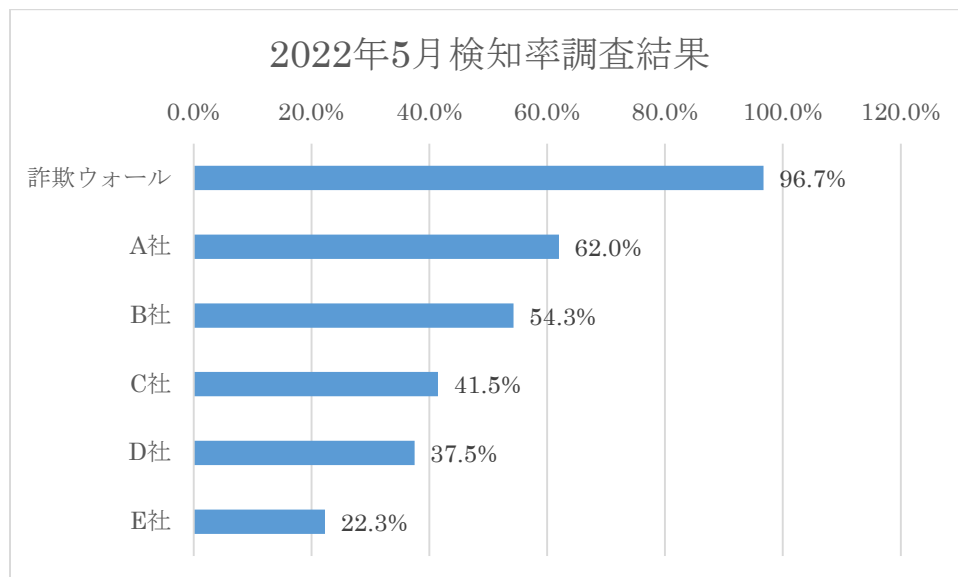
<調査期間>

2022年5月17日（木）、24日（火）、25日（水）

<調査対象 URL>

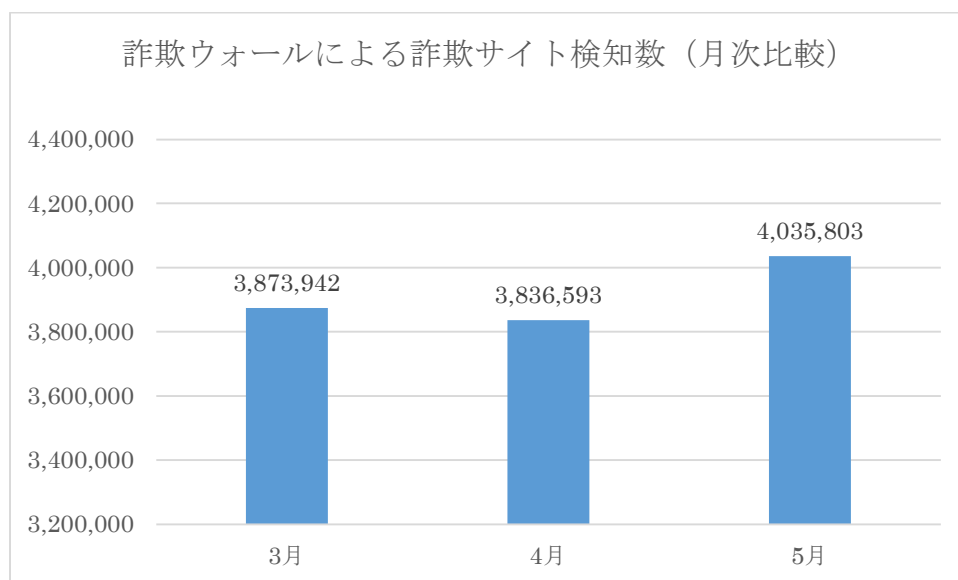
公的機関などから提供された詐欺サイト URL 計 910 件

<調査結果>



■2022年5月 詐欺サイト検知数レポート

2022年5月の詐欺ウォールによる詐欺サイト検知数は4,035,803件で、2022年4月と比較すると、199,210件増加する結果となりました*。



※以下記載のアプリバージョン以上の詐欺ウォールを利用しているお客様のアクセス数値を集計
Windows版：3.3.0 / macOS版：3.5.0 / Android版1.7.0 / iOS版3.2.0.4

■「詐欺ウォール® / Internet SagiWall™」について

日本人を標的とするネット詐欺サイトをブロックする、ネット詐欺専用セキュリティソフトです。ウェブブラウザでサイト閲覧中の不用意に悪意のあるサイトにアクセスした場合でも、コンテンツをリアルタイムで検査し自動的にブロックします。ウイルス対策ソフトでは検知が難しい巧妙な詐欺サイトであっても独自

の AI 検知技術で高い精度で検出するため、ウイルス対策と併用することでユーザーの安全を高めます。パソコンやスマートフォンの利用に慣れていない方でも、簡単に利用でき、サイバー犯罪被害を未然に防ぐことができます。

※詐欺ウォール®は、iOS、mac OS、Windows®、Android™版を提供しています。

<詐欺ウォール® / Internet SagiWall™製品サイト URL>

<https://www.sagiwall.jp/>

■BB ソフトサービス株式会社について

ソフトバンクグループにおいて、セキュリティ製品を主軸とするソフトウェアサービスを、ISP や携帯電話会社などの通信事業者を通して提供しています。サービス提供のみならず、フィッシング対策協議会やその他の社外団体を通じた情報セキュリティに関する啓発活動にも積極的に取り組んでいます。一般消費者のサイバー犯罪被害を減らし、よりよいインターネット利用環境を全てのユーザーに提供することで社会貢献を果たしてまいります。

<会社概要>

社名： BB ソフトサービス株式会社

所在地： 東京都港区海岸 1 丁目 7 番 1 号 WeWork 東京ポートシティ竹芝

社長： 代表取締役社長 兼 CEO 瀧 進太郎

設立日： 2006 年 1 月 17 日

株主： SB C&S 株式会社 100%

事業内容： ブロードバンドを利用したコンシューマー・SOHO 用アプリケーションサービス、およびオリジナルアプリケーションサービスの企画・開発・販売・運営

URL： <https://www.bbss.co.jp/home.html>

<お問い合わせ先>

BBSS 広報事務局

担当：池谷、松村、池田

Email： bbsspr@bbss.co.jp